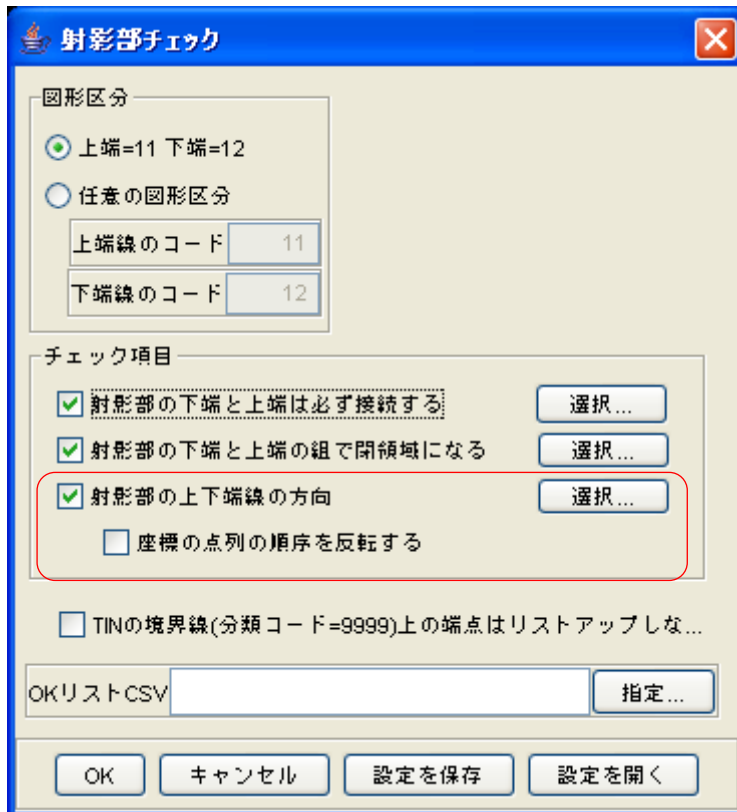


拡張 DM エディタ バージョン 7.0.12 更新記録

2013/03/21
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 射影部チェック

メニュー「チェック」の「射影部チェック」に「建物の内側の面・線」を追加しました。



【射影部の上下端線の方向】

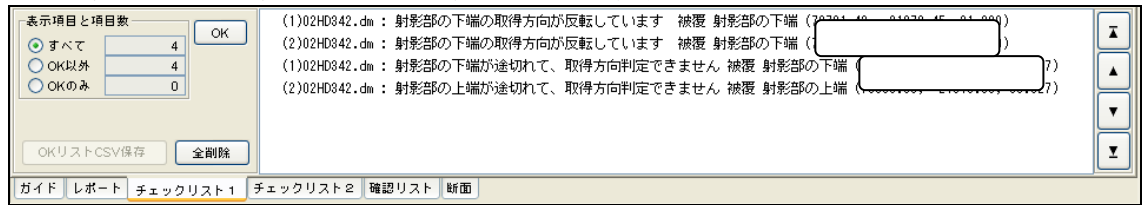
指定された分類コードの射影部の上端線・下端線について、線取得方向が反転している要素をリストアップします。

コード	2D要素数	3D要素数	名称
2214	0	62	石段
5227	0	22	せき
6101	0	180	人工斜面
6110	0	54	被覆
7201	0	2	土がけ(崩土)

Buttons: 閉じる, すべて選択, すべて解除

線取得方向の反転について判定できないケースがあれば、該当する要素をリストアップします。プログラム内部では、分類コード別にネットワークを作成し、接続関係を調べ、ポリゴンになっている部分となっていない部分をチェックします。

- チェック対象の分類コードの面(E1)や線(E2)が単独で閉じている(始点と終点と同じ座標)の場合
- 線が、射影部の上下端線からなるポリゴンにはさまれ場合
- 上端線あるいは下端線がポリゴンの一部になっていない場合



【座標の点列の順序を反転する】

取得方向が判定していると判定された線について、座標の順番を逆にします。

「座標値」パネルに表示されている点を順に選択していくことで、[3D]パネルの選択された点の黄色い表示が動いていくことで確認できます。反転している要素については[座標値]パネルのポップアップメニュー[点列の順序を反転]で、本来の順序に修正することができます。

一旦、反転処理を行い、次のチェックでも同じ要素が検出される場合、一本の線が上端線と下端線の両方の部分を持っていることがあります。この場合、上端線と下端線の境で分割する必要があります。